「ICUにおける末期医療」に関するアンケート調査

日本集中治療医学会倫理委員会*

第32回日本集中治療医学会学術集会にてパネルディスカッション「ICUにおける末期医療のコンセンサス」が行われた。2006年3月に開催された第33回日本集中治療医学会学術集会では、前年の討議を受けた形でパネルディスカッション「ICUにおける末期医療」が行われた。このパネルディスカッションに先立ち、本邦集中治療の現場における末期医療の現状把握を目的として日本集中治療医学会評議員へアンケート調査を施行し、その結果を本年の第33回日本集中治療医学会学術集会パネ

ルディスカッションにて公表した。このアンケート結果は非常に貴重な資料であるので、日本集中治療医学会倫理委員会で審議の後、日本集中治療医学会理事会の承認を得てここに調査報告として改めて掲載する。

アンケートは「ICUにおける末期医療の現状についての予備的調査」として、無作為に選択した日本集中治療医学会評議員75名に郵送した。その結果、60/75 (80%)の回収が得られ、この回答結果を以下にアンケートの質問とともに提示する。

「ICUにおける末期医療の現状についての予備的調査」

ICUにおける治療の手控え（あるいは尊厳死）について

1) (全員回答)

貴施設では過去（1年程度）に、終末期において治療の手控えを、意図して実施した事例がありましたか。

あった	54
なかった	4
無回答	2

2) (治療の手控え経験が「あった」を回答された方)

a) 治療をどのように手控えしましたか。(複数回答可)

現状維持	45
減量治療	32
部分的中止	31
全てを中止	5
無回答	2

b) 治療の手控えの実施を判断した根拠（あるいは切っ掛け）は何でしたか。(複数回答可)

家族の希望	38
治療上の判断	46

c) 治療の手控えを最終的に選択する主な決定者（方法）は誰ですか。(複数回答可)

担当医単独	2
担当医グループ	32
病棟医長あるいは所属長	20
医局検討会での合議	17

d) 選択したこと、実施したことは診療録に記載されていますか。

はい	48
いいえ	8

3) (質問1で「なかった」を回答した方のみ)

家族から治療の手控えを希望する申し出を受けた経験はありますか。

あった	10
なかった	1

4) (全員に質問)

治療の手控えは法的には問題があるとお考えでしょうか。

問題がある	14
問題はない	45
無回答	4

* 高橋 成輔：委員長

加藤 正人，高山 守正，野口 隆之，丸川征四郎，三川 勝也，三高千恵子，谷井千鶴子，山勢 博彰

5) (全員に質問)

安心して治療の手控えを選択・実施するために必要と考える事項を挙げてください。(複数回答可)

患者の明確な意思表示	52
尊厳死の法的な容認	51
支援する医師, あるいは団体	11
支援する法律家, あるいは団体	14

6) (全員に質問)

最近, 患者家族から積極的な治療を望まないという申し出(あるいは説明に対する同意)が増えていると感じておられますか。

はい	21
いいえ	35
無回答	4

7) (全員に質問)

最近の3ヶ月間に患者家族から治療の手控えの申し出は何例くらいありましたか。

例数	回答数	例数	回答数
0	7	3	8
1	14	4~5	21
1~2	2	5	7
2	10	6	1
2~3	3	10	3
		15	1

8) (全員に質問)

下記の治療項目で手控え治療の対象とすることに賛成できるものを選んでください。(複数回答可)

酸素療法	10
人工呼吸器	21
栄養療法	32
輸液療法	22
血液浄化療法	57
昇圧薬投与	54
苦痛, 不快の除去	11

複数回答のため, 一部数値が合わない部分があることをお断りする。

治療の手控えを選択・実施するために必要と考えられる事項(自由回答)

- ・マスコミの過剰な反応がないこと。
- ・現場には多くの矛盾があることを社会は認識すべき(啓蒙の必要性)。
- ・院内倫理委員会による規定。
- ・家族およびコメディカルの同意が得られる体制。
- ・治療費(税金)の増大。
- ・家族支援のための専門チームの存在。
- ・第三者機関あるいは倫理委員会。
- ・学会の明確な基準。
- ・市民啓蒙による終末期に対する共通認識の形成。
- ・国民全体への周知とコンセンサス。

Abstract**Report from the Ethics Committee of the Japanese Society of Intensive Care Medicine**

Shosuke Takahashi, Masato Kato, Morimasa Takayama, Takayuki Noguchi, Seishiro Marukawa, Katsuya Mikawa, Chieko Mitaka, Chizuko Tanii, Hiroaki Yamase

The Ethics Committee of the Japanese Society of Intensive Care Medicine

The Ethics Committee of the Japanese Society of Intensive Care Medicine announces the results of the questionnaires sent out to 75 trustees. The questionnaire includes important ethical problems on the end of life care in the intensive care unit (ICU), and the results have been fully discussed at the 33rd Annual Congress of the Japanese Society of Intensive Care Medicine being held in Osaka on March 2006. The Ethics Committee believes this announcement has a great significance to all members of the Japanese Society of Intensive Care Medicine.

Key words: ① ethics, ② intensive care unit (ICU), ③ questionnaire

J Jpn Soc Intensive Care Med. 2006;13:489 ~ 490.